

同友会オリエンテーション

平成25年11月29日
中讃第二支部 所属
株式会社 エモーション
代表取締役 香川 湧慈

「クレームの生まれる本（もと）は、まあいいか。品質は人質（じんしつ）。」

社員一人一人の「これくらい、まあ、いいか。」という気持ちが、実は、会社の努力に穴を空けてしまう本なんです。ちょっとした気の緩みが大敵だと思うのです。

仕事は「手間を掛ける」ことを惜しんではいけないということを、全員が肝に銘じて日々当たらねば会社の成長も、個人の成長も望めないと思うのです。

会社の総合的品質というのは、経営者はじめ社員一人一人の「人質」がものを言うのです。

「特別なこと」「特別なもの」じゃないのです。

「ちょっとした事」に敏感になっているか。感じ取れているか。手間を惜しんでいないか。

「ココ」に顕微鏡の如く緻密な仕事が出来ているかが、人質を作ってゆくと思うのです。

その人質を磨く為に、

「人間として深く関わり合う経営者と社員の信頼関係こそが、経営力を高める。」ということと、「経営者と社員のより高い次元での、認識の一致以外に、創造的な仕事は生み出されない。」と自覚せねばならないと思う訳です。

そういうことに我々経営者は、全身全霊を懸けないと「いい会社」には成って行かないと思うのです。

先ず、皆さん方の「理想像」を描いて欲しいと思うのです。

理想を描かない限り、理想には向かわないと思うからです。

夜寝て、朝起きて、理想が出来ていた。なんてことは有り得ないと思うのです。

同友会メンバーには、それぞれの理想像を描いて、チャレンジしている経営者、後継者が居るんです。そういう人達を自らが動いて、友達に成ってゆく努力も、結果として会社が「いい会社」に向かう参考書になるのです。